

福島県における

カーボンニュートラルの取組について



福島県環境共生課

00 アウトライン

参考文献がインターネットにある場合は二次元コードを右に掲載します
発展的な学習にお役立てください



01

： 地球温暖化の今

03

04 世界・日本の動向

05 福島県の動向

06

： 福島県の取組

08

09

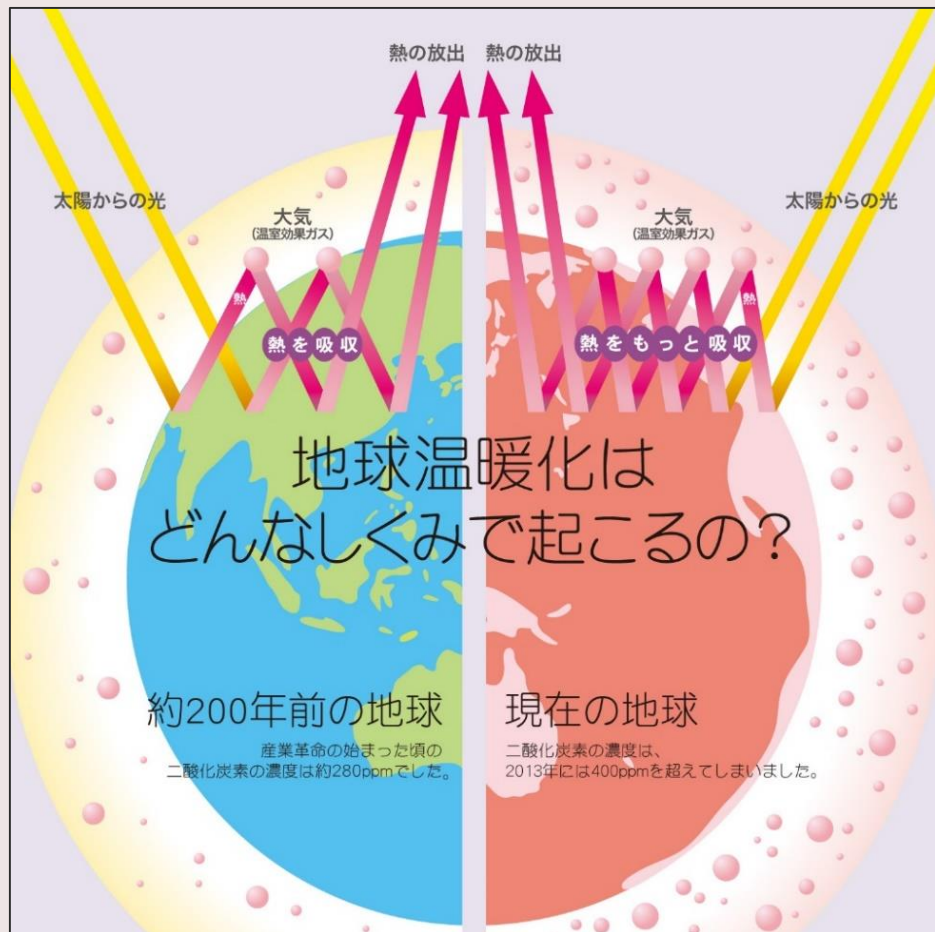
：

令和7年度
推進員関連事業

10



地球温暖化のおさらい



全国地球温暖化防止活動推進センターより引用

- 地球は表面が太陽光の放射エネルギー 可視光線 によって暖められ、宇宙にエネルギー 赤外線 を放出することによって冷える
- 温室効果ガスは 可視光線は吸収しにくい が、地表から放出される 赤外線を吸収 し、再放出する
- 一部は宇宙に出ていくが、残りは地表に放出され、戻ってくる → **温室効果**

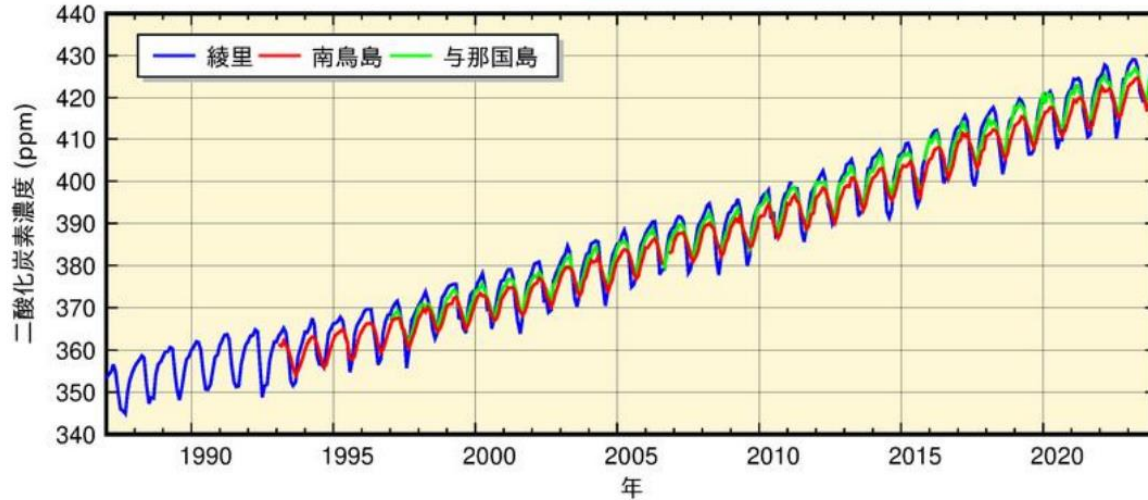
02

地球温暖化の現況

文部科学省 気象庁, 2025, 「日本の気候変動2025」
(2025/04/15閲覧)



地球温暖化は今どうなっているのか



大気中のCO₂濃度の変化 (国内)

気象庁「日本の気候変動2025」より引用

- 代表的な温室効果ガスである二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、及び一酸化二窒素(N₂O)の大気中濃度は、少なくとも過去80万年間で前例のない水準まで増加
- 2023年の大気中の世界平均濃度は、工業化以前(1750年頃)と比べて、CO₂が約 **1.5** 倍、CH₄が約 **2.7** 倍、N₂Oが約 **1.2** 倍
- 日本国内で観測されるCO₂、CH₄、N₂Oの大気中の濃度も上昇を続けている

温室効果ガスの増加



大気からの下向き赤外線放射量の増加



地表面付近の気温の上昇



地球温暖化の進行

03 地球温暖化の影響

① 文部科学省 気象庁気象研究所, 2025, 「令和7年2月上旬の大雪に地球温暖化が影響 - イベント・アートレビューによる速報 -」(2025/04/15閲覧)
② 文部科学省 気象庁, 2025, 「日本の気候変動2025」(2025/04/15閲覧)



令和7年2月豪雪について



雪崩の危険により通行止めとなった道路(檜枝岐村)

全国積雪寒冷地帯振興協議会「令和6年度大雪に対する緊急要望書」より引用

文部科学省による速報的分析の結果

- 東北地方から東日本にかけて平均した令和7年2月3日～9日までの7日間の積算降雪量は、地球温暖化によって約 **6%** 増加 \wedge
- 地球温暖化によって年最深積雪及び年降雪量は **2℃** 上昇シナリオで約 **-30%**
4℃ 上昇シナリオで約 **-60%**
- 1年や10年に1回といった低頻度で発生する極端な大雪時の降雪量は、本州の山間部等一部の地域ではむしろ増加するという予測を示す研究事例が複数報告されている

一部地域では、極端な大雪時の降雪量が増加する可能性があり、大雪のリスクが残る

(ただし、低頻度でしか発生しない現象であるため、観測データに基づく評価が難しいことから、確信度は中程度である。)

04 世界・日本の動向

環境省,「日本のNDC(国が決定する貢献)」
(2025/04/15閲覧)



世界

2015(COP21)パリ協定

世界的な平均気温上昇を工業化以前に比べて **2°C** より十分低く保つとともに、**1.5°C** に抑える努力を追求すること

UPDATE

パリ協定では全ての国が削減目標(国が決定する貢献:NDC)を5年ごとに提出・更新する
2025年2月10日が最新のNDCの提出期限

国

2020.10

2050年までに温室効果ガスの排出を実質的にゼロにする、カーボンニュートラルを目指すことを宣言

UPDATE

最新NDC(2025年2月18日提出)
温室効果ガスを2035年度-60%、2040年度-73%(どちらも2013年度比)削減目指す

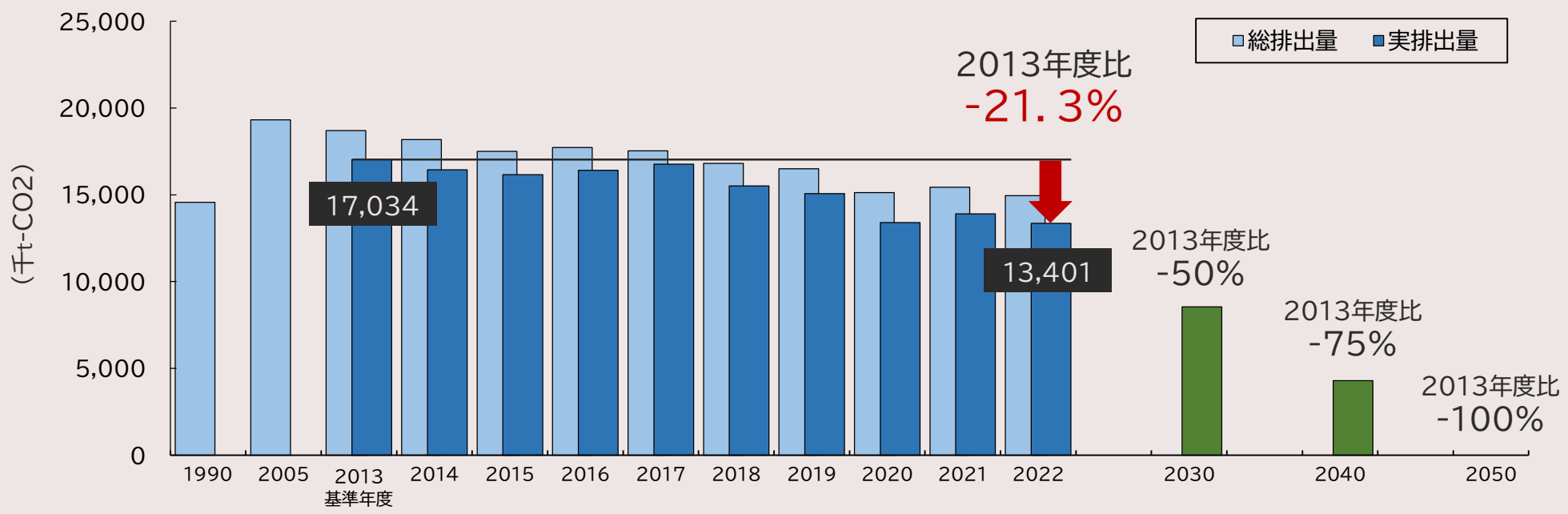
県

2021.2

2050年までに脱炭素社会の実現を目指す「福島県2050年カーボンニュートラル」を宣言

05 福島県の動向

福島県環境共生課, 2024,
「2021年度(令和3年度)の温室効果ガス排出量について」
(2025/04/15閲覧)



2022年度
削減目標
-17%
(2013年度比)

2022年度
削減実績
-21.3%
(2013年度比)

2022年度
削減目標
達成

年度	実績											
	1990	2005	2013 基準年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
総排出量	14,569	19,310	18,703	18,182	17,498	17,723	17,530	16,805	16,505	15,126	15,433	14,992
森林等吸収量	-	-	1,669	1,743	1,336	1,311	758	1,290	1,442	1,728	1,527	1,591
実排出量	-	-	17,034	16,439	16,162	16,412	16,771	15,515	15,063	13,398	13,906	13,401
基準年度比削減率(%)	-	-	-	▲3.5%	▲5.1%	▲3.7%	▲1.5%	▲8.9%	▲11.6%	▲21.3%	▲18.4%	▲21.3%
基準年度比削減目標(%)	-	-	-	-	-	-	-	▲9%	▲11%	▲13%	▲15%	▲17%

目標				
2030	...	2040	...	2050
9,842		5,589		1,300
1,294		1,297		1,300
8,548		4,292		0
▲50%		▲75%		▲100%

06 福島県の取組

福島県環境共生課, 2024,
『『福島県二〇五〇年カーボンニュートラルの実現に向けた気候変動対策の推進に関する条例』について
(2025/04/15閲覧)』



福島県カーボンニュートラル条例の制定

概要

▶ 基本理念・責務

第3条～第7条

- ・ 原子力に依存しない安心・安全で持続的に発展可能な社会づくり
- ・ オール福島でカーボンニュートラルの実現に向けた社会機運を醸成
- ・ 緩和策と適応策を両輪とした気候変動対策を展開、地域課題解決に貢献
- ・ 県、事業者、県民、観光等による一時滞在者の責務を規定

▶ 緩和策(温室効果ガスを減らす取組)

第11条～第42条

▶ 適応策(影響に備える取組)

第43条～第46条

▶ その他

- ・ 気候変動対策推進計画
- ・ 推進体制 等

📢 大学生との連携による情報発信 R6

- 2050年の将来を担う若者世代が、気候変動対策を普及啓発するためのイラスト及び動画を作成し、SNSで発信するとともに、県内企業や学校で紹介



✍️ 福島県気候変動対策推進計画の策定 R7

- 条例第8条に基づく「福島県気候変動対策推進計画」の策定に向け、令和7年2月福島県環境審議会に諮問し、検討を開始
- 今後、関係者からの意見聴取や、パブリック・コメントなども行いながら作業を進め、令和7年度中に策定を予定

07 福島県の取組

① 環境共生課, 2024,
「ふくしまカーボンニュートラル実現会議 令和6年度総会」
(2025/04/24閲覧)
② 環境共生課, 2025,
「ふくしまJ-クレジットクラブ」(2025/04/24閲覧)



主要な取組

ふくしまカーボンニュートラル実現会議

- 令和6年12月9日に「ふくしまカーボンニュートラル実現会議 総会」を開催し、「ふくしまゼロカーボンアワード2024(事業所版)」の表彰式やトークセッション等を実施
- その他、実現会議の実務的な運営のための企画委員会や地域脱炭素を推進するための市町村部会を開催



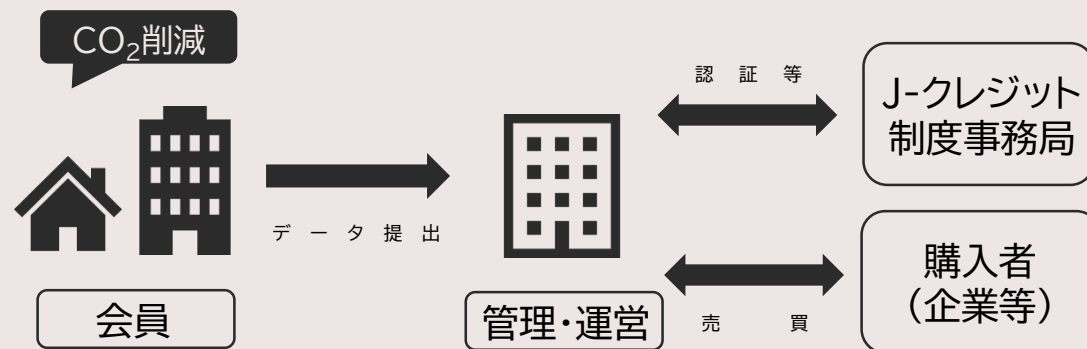
実現会議取組報告



ゼロカーボンアワード表彰式

J-クレジットの創出

- 再エネ、省エネ及び森林経営による温室効果ガスの削減(吸収)量を環境価値としてクレジット化するため、国のJ-クレジット制度に基づく「プロジェクト計画書」を作成
- 再エネ・省エネのプロジェクトに関して、効率的なクレジットの創出を図るため、「ふくしまJ-クレジットクラブ」を発足



08 福島県の取組

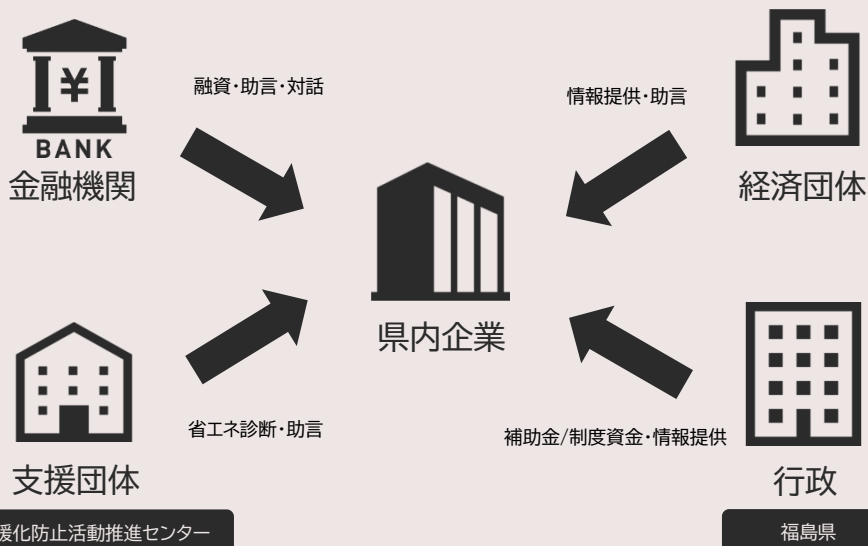
① 環境共生課, 2025,
「福島県地域脱炭素推進コンソーシアム」(2025/04/24
閲覧)
① 福島県気候変動適応センター, 2025,
「熱中症対策(ふくしま涼み処)」(2025/04/24閲覧)



主要な取組

県内企業の脱炭素化の推進

- 県内の金融機関や経済団体、行政、その他関連団体による県内企業の脱炭素化に向けた支援体制として、「福島県地域脱炭素推進コンソーシアム」を令和7年3月に設立
- 脱炭素経営セミナー開催やサプライチェーンを含む県内企業の温室効果ガスの排出量の見える化を推進



熱中症対策の推進

- 令和6年6月～9月に公用施設や商業施設等の協力の下、県民のみなさまが一時的に暑さをしのぐために休憩できる場所として、県独自の「ふくしま涼み処」を県内1,302施設に設置
- 県内4市と連携した熱中症予防の啓発や、気象予報士、救急救命士等とのトークセッションを実施



熱中症対策トークイベント



「ふくしま涼み処」の運用と啓発

09 R7推進員関連事業

令和7年度の推進員関連事業では、推進員の活動支援と、新たな推進員の育成を重視しながら、令和6年度の事業をブラッシュアップし、推進員の地域での地球温暖化防止活動をサポートしていく

推進員の活動支援

📖 スキルアップ勉強会の開催

- 推進員のみなさまを対象に、地球温暖化の現状や課題等に関する勉強会を実施
- 従来の地球温暖化に関する内容に加えて、うちエコ診断士資格取得など、実務的な内容を拡充予定

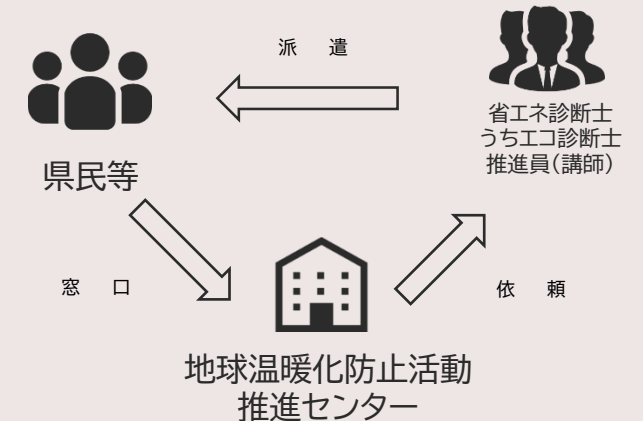
📢 イベントでの情報発信 新規

- 県民のみなさまに広くカーボンニュートラルに関する県の取組を周知するため、イベントでのブース出展を検討中
- 情報発信の場として、推進員のみなさまとCOOLサポーターに運営補助をしていただく予定



🧳 推進員及び専門家の派遣体制

- 活動の場を提供するため、県民のみなさまのニーズにあわせて、省エネ診断士やうちエコ診断士、講師としての推進員の派遣体制を引き続き設置
- 地球温暖化防止活動推進センターに常時窓口をおいてサポート



10 R7推進員関連事業

令和7年度の推進員関連事業では、推進員の活動支援と、新たな推進員の育成を重視しながら、令和6年度の事業をブラッシュアップし、推進員の地域での地球温暖化防止活動をサポートしていく

推進員の育成

推進員事業説明会の開催

- 推進員のみなさまを対象に、令和7年度に福島県や地球温暖化防止活動推進センターが実施する推進員関連事業についての説明会を開催
- 新たに委嘱する推進員に対して、委嘱状を交付



推進員養成研修会の開催

- 委嘱申込書等の手続きに関する説明会及び意見交換会を開催
- 新たな推進員の確保や、既に活動している推進員のスキルアップを目指す



COOLサポーター養成研修会の開催

- 大学生をはじめとする若い世代の推進員候補を養成
- 地球温暖化に関する基礎座学から、環境イベントでのフィールドワークまで、一貫した学びを行う
- R6は推進員のみなさまにも、グループワークでの進行促進役としてご支援いただいた



ご清聴ありがとうございました

「福島県地球温暖化防止活動推進員」の皆さまと一緒に、
将来の県民に良好な環境を継承していきましょう

